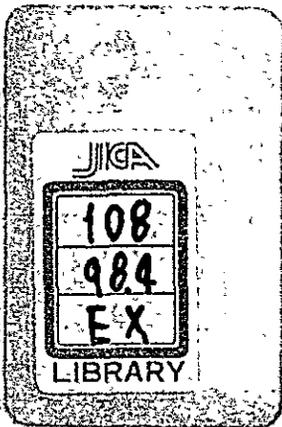


コロンボ計画による巡回診療団の
インドネシア派遣に関する
調査報告書

昭和38年12月

海外技術協力事業団



国際協力事業団

受入 月日	84. 5. 16	108
		98.4
登録No.	04897	EX

目 次

緒 言	1
第 1 章 経 緯	2
第 2 章 日程および交渉経過	3
第 3 章 バリ島の医療事情	9
第 4 章 合 意 事 項	19
第 5 章 覚 書 (案)	25
〔附表〕 (1) イ側に提示した 薬品、器具類一覧表	30
(2) イ側供与希望品目一覧表	45
(3) バリ島地図	

JICA LIBRARY



1029133[4]

緒 言

先発隊一行5名は、コロンガ計画によりわが国から巡回診療団を派遣することについて、インドネシア共和国政府との交渉および予備調査を行うため、昭和38年10月28日から約3週間インドネシアを訪れた。その間イ国保健省当局およびバリ省衛生当局と数次にわたり討議を行い、診療団の派遣に関する基本的事項について合意を得ることができた。

イ国は、医療衛生施設の不備と相俟つて医師をはじめとする医療関係者の絶対数の不足に悩んでおり、これがまた同国の医療事情改善の最も大きな隘路となつている。今回の調査結果がこの問題に少しでも寄与し、イ国の期待に応じて巡回診療が立派に成果を挙げ、日、イ両国の親善に資するところがあれば光榮これに過ぎるものはない。

なお、この機会に、私達の任務遂行にあたり、種々御懇切な御指導と御協力を賜つた日本国内の関係機関の方々、在インドネシア日本国大使館古内大使をはじめ館員各位、在スラバヤ領事館木村領事および館員各位ならびにインドネシア共和国政府、外務省、保健省およびバリ省衛生当局の方々に深甚なる感謝の意を表する次第であります。

昭和38年12月

横 川 寿 明 (外務省経済協力局
技術協力第1課)

竹 中 浩 治 (厚生省医務局医事課)

黒 板 司 (日本赤十字本社)
振興課長

平 島 準 (日本赤十字大宮病院)
外科部長

岡 村 欽 也 (海外技術協力事業団
海外事業部海外センター課)

第 1 章 経 緯

わが国はロンボ^ロ計画による海外医療技術協力の一環として昭和35年以来東南アジア諸国に巡回診療団を派遣し、既に35年度はインドネシア、36年度タイ、37年度はビルマに之を実施してきたところ、非常な好評を得て大きな成果をあげ、わが国医療技術の紹介にも大きな役割を果たした。37年度において本件診療団派遣についての東南アジア諸国の希望を徴したところ、インドネシア、ビルマ、セイロンより派遣方希望があり、インドネシア及びビルマについては既に実施済みであるので昭和38年度については一応セイロンに派遣することとし、同国の意向を打診したが、同国は本年度は医療診療団よりも農業部門に重点を置く関係上、本年度のわが国診療団の受入れは見合せたい旨の意思表示があつた。

よつて本年度は特に従来より衛生事情悪く、且バリ島アグン火山噴火、西ニューギニア帰属に医師の私底に悩むインドネシアに派遣することとし、その旨在インドネシア古内大使を通してイ国政府の意向を打診したところ、原則的に診療団の受入を承認する旨回報があつた。よつて巡回診療の実施についてのイ国政府と細目打合せを行い本件医療技術協力をより効果的ならしめるため昨年^の例にならい先発隊がインドネシアに派遣されることとなつたものである。

第 2 章 日程および交渉経過

先発隊は10月28日羽田を出発、同日夕刻ジャカルタに到着した。最初の約1週間はジャカルタにおいてイ国保健省とわが国診療団の派遣に関する基本問題の検討、調査計画の打合などを行ない、次の1週間はバリ島に滞在し、バリ省衛生局と具体的計画の打合、問題点の検討、島内各地の病院施設、医療事情、衛生状態などの調査ならびにアグン火山噴火による被災地域の視察に当り、最後の約1週間はスラバヤにおける供与物件の輸送方法についての打合、ならびにジャカルタにおける最終討議にあてられた。その間の日程概要は次のとおりである。

- 10月28日(月) 予定どおり20時30分ジャカルタに到着。直ちに大使館担当各書記官と日程など打合を行なった。
- 10月29日(火) 午前9時大使館を訪問。藤山臨時代理大使ほか大使館館員関係者に挨拶を行ない、今回の先発隊の来イの目的を説明、各種便宜供与方依頼したのち、引続き調査日程、対イ交渉方針などについて大使館側と意見の調整を行なった。
- 午前11時30分インドネシア国政府外務省を訪問。アジア局長(MR. Imam Suharto)、アジア局次長(MR. Sudojo)、極東課長(MR. Pandjahan)に挨拶。先発隊の来イ目的ならびに日本診療団派遣の趣旨を説明、同時に先発隊および診療団に対する便宜供与を依頼した。これに対し同局長より本件の主管省は保健省であるが外務省としても側面的に全面協力する旨言明があつた。
- 10月30日(水) 午前10時インドネシア国政府保健省に保健大臣DR. Satrioを訪問。予備調査団の来イ目的及びわが方診療団派遣の趣旨を説明したのに対し、同大臣は、「今回の日本の診療団派遣はインドネシア国政府の政策の基調である国際協調の線に沿つたものであり、イ国政府および国民は大いに歓迎する」旨、をのべ、わが国政府ならびに国民に対し感謝の意を表明した。
- 引続き保健省会議室にて今回の担当責任者である衛生局長(DR. Abdulkadir)、病院課長(DR. Suwarno)と第1回打合会議を行つた。
- 先づイ側より診療地は保健大臣の意向としてバリ島を最優先にして欲しいとの提案があり、これに対し先発隊はわが方の方針を説明、その結果イ側はバリ島の診療は2カ月で充分と思われるので、その他の診療地、期間など細目について検討のうえ翌31日までに回答を約した。

更に先発隊より提示した覚書(案)の基本問題について討議を行ったところ、若干の字句、表現の修正を除き略々了解に達した。なお、覚書(案)の具体的事項については、中央政府たる保健省にては地方の実情不明の次第もあり診療地決定のうえ、診療地の衛生当局と更に協議するよりイ側より提案があつた。午後Hotel Indonesiaについてイ側との交渉結果に基づき、今後の交渉方針など打合せならびに覚書(案)の訂正作業を行った。

18時30分Hotel Duta Indonesiaにおける大使館川越、川端両書記官の歓送迎パーティーに出席。席上コロンボン計画によりわが国より派遣中の各専門家と懇談した。

10月31日(休) 大使館にて大使館当局と対イ交渉方針打合。

11時30分保健省に衛生局長を訪問。前日に続き第2回会談を行った。イ側は前日の約束に反し具体案なく、ただバリ島最優先の方針には変更ないので、とりあえず先発隊がバリ島へ行き、バリ省衛生当局と話合つて期間等の細目を決めて、その結果期間に余裕が生じた場合は改めて中央政府において地方の省とも協議の上具体案を準備するとの意向が表明された。これに対し先発隊は、診療地の決定が同隊に与えられた最も重要な任務の一つであること、然も調査団のインドネシア滞在期間が極く短期間に限られているためバリ島以外の診療地について中央政府の指示をまつていたのではバリ島以外の地は調査不能となる恐れがあることを説明し、至急診療地についてのイ側のはつきりした態度決定方善処を要望したが、結局同局長は決定の権限がないことを理由に回答を保留し、意見一致を見るにいたらなかつた。

13時30分総理府派遣日本青少年協議会代表団歓迎をかねて開催された大使公邸における大使館招待の昼食会に出席。

15時30分Hotel Indonesiaにて本日の会議の整理と今後の日程および調査折衝方針確認のため先発隊の打合せを行った。その結果、調査団は細目打合せのために直ちにバリ島へ急行することとし、これに先立ち11月1日再度衛生局長と会見し、その他診療地についての方針決定方申し入れることとなつた。

11月1日(金) 9時30分大使館訪問。交渉方法等について打合。

11時保健省に衛生局長を訪問、第3回打合会議を行った。先発隊の任務を説

明し、インドネシア側の協力を依頼したところ、同局長は今回のわが方診療団の診療はバリ島のみとし、もし、期間に余裕が生じた場合はジャワ島各地を診療ではなくバリ島での診療結果について巡回講演して欲しいとの最終的な意向を表明した。

12時大使館を再度訪問し、藤山臨時代理大使に交渉経過を説明。診療地は、この際1側の強い希望を入れ、バリ島のみとし、同島に明2日出発することとし、とりあえず、この旨本省宛打電することとなつた。

11月2日出 午前中大使館と打合せ、ならびにバリ島出発準備。

14時30分ジャカルタ発、空路バリ島へ直行、17時30分バリ島着。Denpasarのバリホテルに宿泊。

11月3日(日) 自動車にて島内各地の一般事情および交通事情等を視察。

午後は、整理。

11月4日(月) 9時30分宿舎バリ、ホテルにバリ省衛生局長DR.Djelantikが来訪。先発隊の来イ目的およびわが方診療団派遣の趣旨などを説明の後、バリ省衛生局を訪問、局長代理のDR.Yap Ik Hongをまじえ、第1回打合会議を行つた。この会議の席上、先方の強い希望により診療は4カ月の全期間バリ島とすることに決定した。

同日夕刻宿舎バリ・ホテルにDR.Djelantik夫妻が来訪、日伊医療協力の問題をはじめ広く意見の交換を行つた。

なお、同氏は翌5日より約1週間ジャカルタに出張する予定となつていたため(Dr.Djelantikはバリ省衛生局長の外、バリ島所在のUdayana大学医局部長を兼任しており、此の度のジャカルタ出張はイ国高等教育大臣主催による全インドネシア国立大学医学部長会議に出席のためであつた)その間DR.Yapが一切を代行して先発隊との折衝などにあたることとなつた。従つてこの席上、先発隊はDR.Djelantikに対し、ジャカルタ出張中、中央政府の保健省に立ち寄り、日本診療団の派遣に関し特に協議を行うことを要望した。

11月5日(火) DR.Yapの案内により午前から午後にかけて次の通り病院諸施設等を視察した。

1) R.S.U.Wongaja Denpasar

この病院は、ベッド数300個で、バリ島では中央病院に次ぐ総合病院であり、内科、神経科等のほか、バリ島唯一の結核専門病棟を有しており、日本診療団の結核専門医はこの病院をベースとして活動することとなつた。院長DR.I.Gst.Ngr.Gde Ngoorah(神経科)の案内により病院内を視察した。

2) R.S.U.P Sanglah Denpasar

中央政府保健省直轄の国立中央総合病院で、ベッド数はバリ第1の383を有している。病院長は前記衛生局長のDR. Djelantikが兼ねている。日本診療団は結核関係は上記ワンガヤ病院にてその他の診療は本病院を基地とすることとなつているが、同じDenpasar市内で両病院とも距離的にも近いので、基地が二分されても診療活動上さしたる障害はないものと思われる。

外科医DR. Jazid Masjoediと会見、意見交換。

3) R.S.U. Tabanan

Denpasarから北西約15kmのTabananにある唯一の総合病院。ベッド数は110で、上記2病院と比しその施設は極めて貧弱であつた。

4) Hotel DenpasarおよびHotel Oka

バリ省衛生的と会談の際、日本診療団員用にバリ側が提供を予定する宿舎としてデンパサル市内のHotel DenpasarおよびHotel Okaの名前が提示された。視察したところ、両ホテルともDenpasarでは一流ホテルであるとしても、先発隊の宿泊したバリ・ホテルと比較すると施設等は格段の差があり、日本人が長期間滞在するには不向きであるとの結論に達した。

5) 夕刻、衛生局招待によるバリ・ダンスを見学した。

11月6日付 バリ省衛生当局との会談ならびに視察の結果、診療方式、医師の構成が決定し、また診療車の規格変更の必要が生じたので直ちにこの旨在ジャカルタ大使館宛打電し、本省への転電を依頼した。

これに続きDR. Yapの案内により地方の病院施設の視察を次の通り行なつた。

1) R.S.U. Gianjar

2) R.S.U. Klungkung

3) R.S.U. Bangli

上記3病院は、何れもベッド数40~50個、医師1名で、施設も極めて貧弱である。治療の程度も日本における小さな診療所程度に過ぎず、ちよつとした外科手術でも全てDenpasarの中央病院へ送られるとの趣であつた。

また、これらの地方病院を廻つてとくに驚かされたことは、伝染病が多いにもかかわらず、隔離病棟が全く見当たらないことで、同じ病棟に一般患者とコレラ患者やチブス患者が雑居している光景を目前に見、我々は自分の目を疑わざるを得なかつた。診

診療団員はもとよりこれらの地を旅行する場合、予防注射の必要性が改めて痛感させられた。

4) 上記病院視察後、引続いて精神病患者の療養施設、ベッド数150を有する国立精神病院R.S.Djiwa Bangliならびに母子衛生施設として各地に設けられているHealth Centerを視察した。各地にHealth Centreが設けられていることより見て、インドネシア政府の母子衛生向上に対する熱意と意欲がうかがえるが、我々も現地の一般民衆の生活状況衛生状態を見て、医療事情の改善とともに、何よりも増して母子衛生観念向上の必要を痛感させられた。

11月7日(休) 助産婦長Miss Augustine MambuおよびDR.Siem Gwan Sioe (R.S.U Klungkung)の案内によりKarangasem地域のアグン火山噴火による被災地および仮病院を1日中視察した。

火山爆発の結果、溶岩は同火山より東部並に東南部に流れておりカラニアサム総合病院(R.S.U.Karangasem)は破壊され、現在では寺院跡と小学校に緊急用として2個の仮病院が設けられ、それぞれ多数の患者を収容している。

火山噴火による被害は、カラニアサム地域においては部分的にはあるが、いたる所に惨状の跡が見られ、特に視察したある部落は全滅で、ここには直径1m以上もあるかと思われる火山岩が多数見受けられ当時の惨状を物語っていた。また爆発の当時、西風が吹いていたため西側は降灰による被害が大きく、これは300km以上離れたスラバヤにおいてさえ30cm近い降灰があつたことから、その規模の大きさをうかがい知ることができる。この災害により、約1,400人が死亡し、多数の患者が中央病院をはじめ各病院で手当を受けたが、更に深刻な問題は、降灰により作物が殆んど全滅し、このため周辺の住民に栄養失調が極めて多くなつてきていることである。

本災害救災のため、国際的にはフィリピンから医師6名を含む30名の救援隊が本年4月に派遣され、1カ月間にわたり救助活動を行つた趣である。

なお視察の途次衛生局長DR.Djelantikの尊父と会見、懇談した。同氏は以前この地方のラジャであり、各地にKarangasemの新旧水宮殿を始めとして立派な王宮を持ち、現在ではこれらの王宮が昔の宮殿として世界各地からバリ島を訪れる多くの観光者の第1の訪問地となつている。80才の高令にも拘らずかくしゃくたるもので我々を手厚くもてなしてくれ、オランダ植民時代、日本占領時代並びに独立に亘る時代をかいこし大変感慨深げであつて日本にも行つてみたい旨強調していた。

11月8日(休) 中央病院を再度訪問し、産婦人科のDR.G.E.Woworの案内で院内を視察、意

見の交換を行なつた。

続いてバリ省衛生局にDR. Yapを訪問、問題点について最終確認を行なつた。この席上DR. Yapより日本側の提示した供与予定の薬品器具類の内容については特に異議はないが更に若干の器具類を追加して欲しい旨要望があり、供与希望器材のリストが先発隊に提示され、これに対し先発隊は善処を約した。12時30分先発隊はツリ・ホテルストランにDR. YapおよびMiss Auejnstineを招待し、会食した。13時30分バリ発、空路ストラバヤに到着。木村領事主催の晩餐会に出席した。

- 11月9日(土) 午前、日本領事館に木村領事および西川副領事を訪問。先発隊の来日目的、診療団の派遣の趣旨を説明、続いて診療車ならびに薬品器具類の荷揚げ、輸送問題について打合せを行い、輸送実施の際の協力を依頼した。
午後、西川副領事宅における昼食会に出席。
- 11月10日(日) 午前中、先発隊の打合会議を実施。バリ島における調査結果ならびに今後のジャカルタにおける最終討議に備え方針等について団員間の意見調整を行つた。
ストラバヤ動物園見学、整理ののち、15:50分ストラバヤ空港発、ジャカルタに帰着。
- 11月11日(月) 9時大使館訪問。藤山参事官にバリ島における調査経過を報告、続いて関係書記官を交え問題点の検討を行つた。バリ島より打電した電報は11日漸く到着したばかりであり、本省には未だ転電していないことが判明したため、直ちに本省宛打電方依頼した。11時30分大使館にて診療車の輸送についてのその後判明した調査結果の説明を聴取した。
午後、大使公邸における大使主催のGANEFO(新興国スポーツ競技会)日本代表団歓迎夕食会に出席。
- 11月12日(火) 昨日より引続き保健省のDR. Abdulkadir 衛生局長に最終討議のため会見を申し入れたが、回答がないため、止むを得ず同省を訪問し薬剤課長MR. Soenartoと会見、衛生局長に主要問題点について伝達方依頼した。
午後、大使館寺田書記官宅より昼食に招待され懇談した。
- 11月13日(水) 8時30分大使館訪問。古内大使、藤山参事官をはじめ関係館員に帰国挨拶を行ない、続いて今後の問題点につき打合せを行なつた。引続き高等教育省、インドネシア大学医学部、中央病院を視察、また横川、黒坂の両氏はイ国赤十字社に訪れ、来意を告げて、診療団の任務遂行につき協力を依頼したところ、同社副社長から、日赤社長あて、全面協力をおしまない旨の手紙を受領した。帰国準備ののち、午後ボゴール植物園を見学。夕刻より平野参事官招待の歓送パーティーに出席。本日も保健省衛生局長に面会を申込んだが結局実現しなかつた。之はGANEFO(新興国スポーツ大会)のため各省の局長以上がその委員会委員に指名されており11月10日の開催と共にGANEFOに動員されたためである。
- 11月14日(木) 7時30分ジャカルタ発、バンコック、香港経由帰国の途に着いた。

第 3 章 バリ島の医療事情

1. 概 説

東京を早朝に出発すれば、香港、バンコック、シンガポールを経由し、その日の午後8時半にジャカルタに到着する。ジャカルタは、人口300万を有し、赤い屋根と緑の熱帯樹が強烈な太陽のもとに明るく印象づけられる美しい町であり、日本の賠償で建てられた豪華な高層ホテル、米国援助による立体高速道路、ソ連援助によるマンモス競技場など、そこには確かに1億の人口を有する大国の首都にふさわしい見事な近代都市が造築されているが、一方これと極めて対比的に、南国の太陽に焼けついたアスファルトの上を平然と素足で歩く無数の人々、町の中心を流れる真黒なドブ川の片隅で用をたし、水浴し、洗濯する下層級の人々、幾家族も雑居した原始的なニジバ造りの家々など、物価の不安定と相まつて一般民衆の生活水準と衛生状態の極度の低さを物語っている。インドネシアは、現在この二つの不均衡をもつて代表される多くの矛盾が内蔵し、これがまた開発途上にある新興独立国の多難の前途を象徴している。

ジャカルタからバリ島までは、ガルーダ航空の双発プロペラ機で約3時間、途中東部ジャワ上空における山々とバリ島海岸一帯の椰子の眺めは極めて印象的である。

バリ島は、ジャワの東部と接する東経114°25'~115°42'と南緯7°54'~8°52'の間に位置し、その大きさはわが国四国の約三分の一の562.13km²で、島の最遠長は東西200km、南北100kmにおよんでいる。島の総人口は凡そ180万人と推定され、人口密度は平方km当り321人で、全インドネシア平均の51人をはるかにしのぎ、ジャワの477人に次ぐ密集地帯となつている。

気候はジャカルタと殆んど同様の常夏の国で、年間を通じて気温は摂氏27度前後で変化がない。また雨量は季節風によつて左右され、大体10月から3月にいたる雨季と4月から9月の乾季に分けられる。

島全体は強い太陽に明るく輝く緑の熱帯植物に覆われ、その間に美しい火山や湖が散在し、美術、彫刻、土俗、舞踊、音楽など固有のヒンズー文化とともに、いたるところに南国情緒が横溢しており、また島民は純朴かつ誠実で、島内はジャカルタ等で感じられるせせこましさは全く感じられず、のんびりした平和な空気が充満している。

バリ島の行政は、西部ジャワ省や東部ジャワ省とともに一つの省機構を形成し、これが更にBuleleng, Djembrana, Tabanan, Badung, Graujor, Bangli, Klungkung, Karangasemの8県の行政区に分かれている。BadungのDenpasor市は人口5万でバリ省の首都であり、政府機関をはじめ、島内の重要機関は全てここに集中し、名実ともに政治、

経済、文化の中心となつている。然し、市内はいたつて静かであり、町の交通の主体をなす自転車やのんびりと鈴を鳴らして走るロバ車と頭に大きな荷物を載せて素足で闊歩する女性の姿がとくに目を引き、殆んど近代文化の影響を感じさせない。

生活も極端に貧しく、このことは一般勤労者の月収の標準が2,000ルピア程度で、これが大体安靴1足またはオープンシャツ1着の価格に相当するという事例を挙げただけでも容易に想像がつくものと思われる。御参考までに幾つかの物価を例示すれば、Bali Hotelの宿泊費が1人1泊約2,000ルピア、食事代が1食400~500ルピア、国産タバコが40~80ルピア、赤レベルのジョニーウォーカーが1,400ルピア、カラーの絵葉書が1枚50~60ルピア、ハイヤーが5~6時間貸切で5,000ルピア前後であり、その他外国製電気器具等は一般国民の全く手の届かない価格となつており、市内にも殆んど見当らない。

2. 医療機関

(病院) バリ島には軍関係の病院を除き9ヶ所の病院があり、その病床総数は1383床となつている。このうちDenpauarの中央総合病院とBangliの精神病院が国立で、中央政府の保健省と直結し、その他7病院は省立である。省立病院は各県に1個、計8ヶ所あつたが、今回のアグン火山噴火による被害のためKarangasemの省立病院が閉鎖され、現在では7ヶ所となつている。なお、Karangasemでは前記病院閉鎖のため、これに代り臨時的に緊急用病院がManggisおよびPuri Karangasem地区にそれぞれ設けられている。

これらの病院の医師数は2~3の病院を除いては1病院当り1名であり、従つて時によつては2病院掛け持ちの事象も充分考えられる。病院施設もDenpasarの二病院以外は甚しく貧弱で、簡単な手術でもすべて中央病院へ送る現状である。中央病院は5年前に国によつて建てられ、然もバリ省衛生局長自から病院長として管理しているだけあつて、建物や設備等は可成り整備がゆきとどき、医師も外科、産婦人科、内科、歯科にわたり数名配置され、バリ島最大の規模を有している。一応全科の診療が可能であるが、ここでも少しでも複雑な手術は困難で、事情が許す限りスラバヤの病院等へ送る趣であり、医師達は頻りと医療器具や薬品等の不足を訴えていた。

Denpasar市内にあるもう一つのワンガヤ省立病院は50年前に設立されたバリ島では最古の総合病院で上記中央病院に次ぐ規模を有している。この病院は唯一の結核専門病棟をもち、島内の結核患者はこの病院に収容される。しかし結核患者の数は極めて大きな数にのぼり、全患者を収容することはとてせ不可能であるため、比較的軽症者は入院させず、重症者を中心に収容している現状である。参考までに我々が視察した際には男性48人、女性46人、計94人の結

核患者が入院中であり、ベッドは勿論一杯であつた。医師は院長を含め3名で、専門は神経科、内科（結核専門を兼ねる）、歯科となつており、その他週1回医師1名が巡回しているが、外科の専門医はおらず、結核関係の胸部手術等も全て中央病院で行われる。この病院には、そのほかレントゲン技師2名があり、また看護婦は見習70名を含め約110名が配属されている。

一方、病院の開業時間は普通7時から12時までで、これ以外は緊急とし、交代で常時1医師が診療にあたれるようになっていたが、院長室にあつた記録表によれば、当日の一般外来患者は116人、緊急患者は29人となつていた。また入院費は、1級の200ルピア（ワンギャ病院には1級がない）から4級下の無料（4級上は50ルピア、中は5～15ルピア）までに分かれこれには部屋代、食事代、治療代、薬品代の一切が含まれているが、4級以下については特に支払能力のないものを対象とし証明書に基づいて適用されることになつてゐる。

バリ島内の病院および病床数は以下の通りである。

- (1) サンクラ中央総合病院（国立）383床（Denpasar, Badung）
（R.S.U.P. Sanglah）
- (2) シワ精神病院（国立）150床（Bangli）
（R.S. Djiwa di Bangli）
- (3) ワンギャ総合病院（省立）300床（Denpasar, Badung）
（R.S.U. Wongaya Denpasar）
- (4) シンガラジャ総合病院（省立）250床（Buleleng）
（R.S.U. Singaradja）
- (5) タバナン総合病院（省立）110床（Tabanan）
（R.S.U. Tabanan）
- (6) ネガラ総合病院（省立）60床（Djembrana）
（R.S.U. Negara）
- (7) ギアンジャール総合病院（省立）40床（Gianjar）
（R.S.U. Gianjar）
- (8) バングリ総合病院（省立）50床（Bangli）
（R.S.U. Bangli）
- (9) クルンクン総合病院（省立）40床（Klungkung）
（R.U.S. Klungkung）

（診療所） 上記病院のほか、バリ島には123個の診療所が各地に設けられており、簡

単な治療を行なえるようになってゐる。即ち、人口15,000人に約1個の割合で診療所が開設されてゐるわけであり、平常1週間に1回医師が巡回し、医師の診療を受けることができ、その他の日は看護婦によつて治療が行なわれている。

1962年1年間にこれら診療所において診療を受けた患者の総数は延べ95,6687人(1診療所当り平均8,000人)にのほりこれら診療所が如何に島内医療事情の改善に大きく貢献しているかを伺ひ知ることができる。

(分娩用施設) 島内には3個の教会関係経営の施設を含め合計9個の分娩用施設があり、その病床数の合計は74床にのほつてゐる。

島民は未だ衛生観念に極めて乏しいためバリ省衛生当局も母子衛生の向上には特に力を注ぎ、各地にヘルス・センターを設けてその教育指導にあたる一方、中央病院では附属の助産婦学校で助産婦の養成を行なつてゐる。最近ではこれらの指導が着々と成果を挙げ、分娩のために病院や上記分娩用施設を利用する産婦が年々増加を示している。

3. 医 師

インドネシアは、他の東南アジア諸国と同様に医師をはじめとする医療関係者数が極めて少なく、これがインドネシアの医療事情改善の最も大きな隘路となつてゐる。即ち、インドネシアにおける医師総数はわずか1938人(1958年)で、人口10万に対して2.1であり、わが国の人口10万に対する110と比較すると50分の1以下である。この事情はバリ島においても同様で、人口180万人に対し軍関係病院勤務の医師等も加えて32人で、人口10万対1.8となり、これは上記インドネシア全体の平均数字よりも更に下廻る数字である。

これらのうち眼科専門は現在1名もおらず、Denpasarの中央病院でも眼科は一応設けられているが看護婦が洗眼程度の簡単な治療を行なつてゐるのに過ぎない現状である。

また一般的に云つて医師の数が少ないため、その地位は非常に高く評価されており、病院内においても手術等特殊の例を除き普通の診察治療にあつては医師は指導監督と助言のみを行ない、直接的には大部分看護婦が行なつてゐるように思われた。バリ島における県別、病院別の医師名および専門科目は次の通りである。

Badung : R.S.U.Wongaja : Dr.I Gst. Ngr. Gde Ngoerah	- 神経科
Dr.Tan Hoo Liang	- 一般
Dr.Nj.Kwee Hien Djien Ong	- 歯科
R.U.S.Sanglah : Dr.Jazid Masjoedi	- 外科

		Dr. Oei Tiang Bok	- 助 手
		Dr. G. E. Wovor	- 產婦人科
		Dr. Tjia Ma Kioe	- 齒 科
		Dr. Schweers	- 內 科
Kabupaten Denpasar (Health Officer)	:	Dr. Sie Hing Toen	- 一 般
R.S. Tentara (陸軍病院)	:	Kol. Dr. Socjatno Djojosoegito	- //
		Dr. M. Angsar Karta Kusuma	- //
		Dr. Kwee Hien Djien	- 齒 科
R.S. Lepra (癩病病院)	:	Dr. Yap Ik Hong	- 一 般
Tabanan	:	R.S. Tabanan	:
		Dr. Gho Sang Toen	- //
		Dr. Nj. Gho Sang Toem-Siek	- //
Djembrana	:	R.S. Negara	:
		Dr. I M. Sudhiana	- //
Buleleng	:	R.S. Singaradja	:
		Dr. I kt. Soeridja	- //
		Dr. Kwa Poo Lien	- //
		Dr. Lien Tieng Gie	- 齒 科
Kabupaten Singaradja (Health Officer)	:	Dr. Teng Thay Poo	- 一 般
Klungkung	:	R.S. Klungkung	:
		Dr. Siem Gwan Sioe	- //
Gianjar	:	R.S. Gianjar	:
		Dr. S. L. Leimena	- //
Bangli	:	R.S. Bangli	:
		Dr. Lien Tjien Tieng	- //
Karangasem	:	R.S. Karangasem	:
		Dr. Oei Khiem Hong Sie	- 齒 科
		Dr. Kwik Swie Lian	- 一 般
		Dr. Oei Khiem Hong	- //

4. 医 学 教 育

インドネシアには現在医科大学が十数校あり、入学定員は毎年約1,500人である。しかし、このうち3~4校はごく最近開設されたもので、これらの医科大学ではまだ卒業生を出すにいたっていない。

バリ省にも Denpasar に医科大学が昨年より開設され、現在才2学年30名、才1学年60名の学生が在学している。

なお、バリ省における医療補助者の教育としては、初歩医療教育(定員60名)、看護婦(定員60名)、助産婦(定員80名)がある。

5. 疾 病 の 状 況

住民の栄養状態、環境衛生事情等が悪いため、栄養失調およびそれによる貧血、皮膚病、消化器系伝染病、結核、眼病等が多くなっている。1963年1月から4月までのバリ省内病院外来新患者の統計によれば、腸チフス47人、チフテリア16人、肝炎25人、ポリオなし、流行性脳脊髄膜炎16人、トラコーマ2,776人、赤痢7,321人、貧血7,001人、疥癬9,772人、結核1,345人、気管支炎15,399人、インフルエンザ23,473人、肺炎2,111人となっている。

6. 予 防 対 策

前にも述べた通り島民の衛生観念は極めて低く、予防よりも先づ衛生教育の必要が痛感されるが、一方多少不潔な治療を行なつても化膿せず、また伝染病患者を隔離せずに他の患者と同室に雑居させてもそれ程伝染病が蔓延しないことを考え合わせると如何に彼等の抵抗力が強いかを認めざるを得ない。

種痘は各地方で統制的に実施されており、現在までにバリ島では天然痘が流行したことは全く

ないとのことである。マラリアについては、WHOの協力を得て撲滅運動を展開した結果、現在では殆んど無に等しい状態となっており、今後も充分これを維持し得る状態となつている。

インド痘対策については、衛生当局は特にこれを重要視し、既にここ数年間予防対策を実施して来たが、現在は殆んど任務を終り、1965年には整理されるものと思われる。

癩病は、現在約22,000人の患者がいるため、その患者の治療を強力に推進するとともに、特に特新感染者の調査および予防に万全を期している。しかし癩病の予防対策については資本と施設の不足により現在のところ全く失望の状態にあり、予防対策上大きな問題点となつている。

一方、BCG接種は昨年始めて行なわれMontoux調査により1~6才が29%、7~14才が52%、15才以上が73%というtest proutipの結果が明らかになつている。

なお、港湾衛生は常時医師を配属することが困難のため公衆衛生看護婦がこれにあつており、また学校における歯科衛生と結核対策は医師不足のため未だ実施されていない。

〔表1〕 インドネシアにおける病院数と収容能力

病院の種類別	病 院 数			病 床 数		
	公 立	民 間	計	公 立	民 間	計
中央病院	7	-	7	5,668	-	5,668
総合病院	481	120	601	35,586	15,717	51,303
癩病院	58	2	60	5,332	600	5,932
結核病院および 療養所	14	5	19	1,368	358	1,726
眼科病院	2	4	6	265	476	741
精神病院	28	1	29	7,750	70	7,820
産科病院	20	89	109	612	1,777	2,389
性病病院	1	-	1	240	-	240
統計 1960	611	221	832	56,821	18,998	75,819
1959	620	202	822	55,568	19,080	74,648
1958	616	200	816	55,266	19,270	74,536
1957	580	213	793	51,772	18,988	70,760
1956	534	176	710	50,157	17,458	67,615
1955	510	164	674	46,441	17,255	63,696
1940	203	407	610	21,943	38,671	60,614

(出所) Dept of Health, Govt of Indonesia

〔才2表〕 公衆衛生事業に従事する医療関係職員の数

専 門 科 目	1958	1959	1960	1961	1962
I 1 医 師	878	954	976	1,004	1,114
2. 助 産 婦	1,740	1,885	2,105	2,433	2,725
3. 看 護 婦 (夫)	1,163	15,527	16,010	17,751	21,835
II 1 歯 科 医	107	120	162	185	198
2. 歯 科 看 護 婦	134	118	127	128	122
III 1 薬 学 師	25	35	37	54	85
2. 薬 劑 師	22	38	39	42	47
3. " (助手)	391	464	557	642	678
4.	174	159	185	196	210
IV 1 栄 養 師	35	35	33	47	70
2. " (助手)	54	56	77	95	94
V 1 細 菌 学 者	12	22	25	24	26
2. 衛 生 学 者	2	4	4	7	6
3. 化 学 者	18	16	16	16	16
4. 物 理 学 者	11	11	12	12	13
5. 解 剖 者	73	145	179	246	283
6. 研 究 室 助 手	429	436	436	424	437
7. レントゲン助手	52	53	71	89	111
VI 1 マラリア専門家	1	-	-	-	-
2. マラリア検査官	40	37	40	39	39
3. " 助手	388	421	437	438	395
VII 1 衛 生 検 査 官	106	103	104	123	154
2. " 助手	70	35	12	62	66
3. 調査保健教育官	349	325	346	313	323
4. 疫病技師 (検死官を含む)	1,054	1,022	1,261	1,232	946
5. 種痘接種者	786	738	717	701	646
VIII 1 整形外科技師	1	1	-	-	-
2. マッサージ師	-	-	-	-	-
IX 1 広報補佐官	300	295	289	282	273
2. 宣伝普及官	1	1	-	-	-
3. キャンペーン, 家庭訪問補佐官	213	204	198	199	184
総 計	18,629	23,260	24,455	26,784	31,096

(出所) Dept of Govt Indonesia

〔表3表〕 ジャワ省内における主要伝染病発病数と死亡数

年度別	ベスト		天然痘		腸チフス		パラチフスA		チフテリア		桿状菌赤痢	
	発病件数	死亡数	発病件数	死亡数	発病件数	死亡数	発病件数	死亡数	発病件数	死亡数	発病件数	死亡数
1938	2,107	2,083	9	2	4,625	747	708	37	882	81	2,507	354
1951	5,183	2,277	100,952	18,553	4,090	461	611	32	374	83	3,354	110
1952	1,965	10,49	9,819	679	5,792	437	845	19	968	155	5,774	357
1953	366	260	2,584	363	5,272	425	745	19	972	159	8,487	507
1954	301	123	1,878	277	6,223	508	1,021	22	1,170	177	8,799	554
1955	354	61	1,377	460	6,081	460	965	31	1,001	193	6,660	319
1956	113	28	2,817	2,078	6,106	433	899	13	1,001	168	3,330	163
1957	17	7	1,550	320	6,850	570	962	22	1,250	276	3,831	243
1958	-	-	121	2	7,829	627	854	15	1,143	231	486	62
1959	36	30	24	-	5,955	491	609	21	1,740	362	413	72
1960	-	-	1,721	120	5,428	490	377	14	1,146	189	4,866	292

第4章 合 意 事 項

今般の先発隊の任務は、コロンボ計画に基づきインドネシアにわが国診療団を派遣することに關し、その基本的な事項についてインドネシア国政府ならびに派遣に伴う関係機関と協議を行い、派遣に關する具体的計画を取決めることであり、従つてバリ島における病院視察等を除いては充分なる一般医療事情の調査をすることは出来なかつた。然も、調査団が滞在中、ジャカルタにおいて第1回新興國スポーツ競技大会(GANEFO)が外國選手3,000人を集めて開催され、國を挙げて沸返つている最中であり、このため中央政府保健省当局との最終討議が不可能となつたことは誠に遺憾であつた。しかし日本診療団派遣に必要な基本的な問題点については、既にバリ島出發前のジャカルタにおける中央政府保健省当局との會談において別項覚書案の通り殆んど了解点に達しており、また具体的事項については、バリ省衛生当局との會談の結果、略合意に達し、特に重要な事項は上記覚書案にバリ省衛生局長の署名を取り付けることができた。

上述の通り、最終討議不能の結果、提供される宿舍の程度および通訳、コック等のインドネシア側提供等についての最終確認は得られなかつたが、これらの点については大使館当局に更にイ側と交渉を願ふ必要があると思われる。

「日程および交渉経過」の項参照の通り、先発隊は昭和38年10月28日から11月14日までインドネシアに滞在し、その間11月12日の保健省薬剤課長との會談を含め、合計6回の打合會議を行ない、またバリ島滞在中は同省衛生局長代理DR. Yapが常に付添ひ、自由に意見を交換する機会を得た。以下これらの話合ひを中心に主なる合意事項について申し述べることにする。

1. 診療団の構成について

診療団の構成については、中央政府保健省当局からは、出来得る限り語学のできる人を希望するという点を除いては特に異議はなく、従つて具体的にはバリ省衛生当局と協議を行うこととなつた。(バリ省衛生当局と打合せの上決定された事項については中央政府保健省はそのまゝ之を保健省の決定とみなす旨 Abdulkadir局長より確約があつた)。11月4日のバリ省衛生局長DR. DielantikおよびDR. Yapとの會談において、イ側は日本側提示の外科、内科、結核専門各1名の医師編成案に対し、産婦人科、結核専門、眼科各1名とするよう強い希望が表明された。

検討した結果、日本側としては、外科を落とすことは医療協力の効果上極めて望ましくなく、

然も本隊団長予定者が外科があり、先発隊に参加している等の事情もあり外科を入れ、内科についてはある程度結核専門医にて代用可能な事実より見て内科に代え産婦人科とすること、また眼科医については日本からの派遣困難な事情を説明し、外科、産婦人科、結核専門各1名の医師構成案を再度提示した。

これに対し、イ側は、日本側の事情は認めながら、尙も眼科専門医の派遣を強く要望した。最近の疾病の傾向を見ても明らかのように、バリ島ではトラホームをはじめ各種の眼病が極めて多いにもかかわらず、別項第4章「医療事情」において既に説明した通り、現在島内には眼科専門医が皆無の状況である。かかる事情に鑑み、先発隊はイ側に対し、帰国後、日本政府と交渉し、出来得る限りイ側の希望にそつて眼科専門医を加えるより努力する旨回答し、別項覚書案にも「出来得れば日本政府の承認を得たうえて眼科医を加える」との表現を追加することとした。

わが国の医療協力の効果上、眼科医の派遣は出来得る限り望ましく、この場合、診療団の医師構成は4名となる。

なお、前述の通り保健省治療局長DR Abdulkadirと会談の際、特に同局長より日本側団費は医師を含め少なくとも英語が充分出来る者で、かつインドネシア語も可能な限り習得してもらいたい旨要望があり、先発隊側は若干問題もあるが、出来るだけイ側の希望に沿うよう善処を約した。

2. 診療地について

既に交渉経過および日程の項で述べた通り、診療地については、当初イ側より保健大臣の意向としてバリ島最優先の希望が表明され、その後第3回目の保健省当局との会談において衛生局長よりバリ島のみとする旨のイ側の方針説明があり、最終的にはバリ省衛生局長との会談において同局長の強い希望により4カ月全期間バリ島とすることに決定したものである。

また当初中央政府保健省の話ではバリ島の診療はアグン火山噴火による災害救助が主なものであるとの事であつたがバリ省衛生当局の説明によれば、同火山噴火による被災者に対する直接の救援活動は既に殆んど終つており、従つて日本診療団の診療活動は、保健省が述べたような単なる災害救助が目的ではなく、更に幅の広いものであることが確認された。

バリ島は人口約180万人、人口密度はジャワ島のPer Sg·Km 47.7人に対し32.1人で、全インドネシア中第2位を占めているにもかかわらず、医療事情は極めて悪く医師総数は32人でジャワ島の人口10万対2.1に対し1.8(日本は110)となつており、これはインドネシア全体より更に下廻る数字である。然も、これは平均値をとつたものであり、人口20~30万人

に対し医師1名しかいない地方がある。一方、アグン火山の噴火により、食糧等が甚大な被害を受け、住民の栄養状態、環境衛生事情等が更に悪化したため、栄養失調およびそれによる貧血、皮膚病、消化器系伝染病、結核、眼病等が多くなっている。

かかる事情より考え、診療効果、医療協力のうえからも、バリ島は診療地として最適と思われる。

3. 診療方式について

バリ省衛生当局は、全期間にわたり首府デンパサール(人口約5万)の国立中央総合病院(R. S. U. P. Sanglah Denpasar)とワンガヤ総合病院(R. S. U. Wongaja Denpasar)の2病院の病院勤務方式を希望したが、これに対しわが方は診療団の主要目的は巡回診療にあることを説明、結局前記病院勤務方式にわが方の巡回診療方式を加味し、全期間基地をデンパサールの上記2病院におき、週2日程度、島内各地を診療車により巡回診療し、これによつて発見された患者およびその他省政府の集めた患者に対し、それぞれの病院において診療を行なうこととなつた。

基地を2病院に分けることとなつたのは、ワンガヤ総合病院が省内唯一の結核専門病棟を有する病院であり、結核専門医はこの病院に勤務する必要があるからであり、その他は全て国立中央総合病院に勤務することとなる予定であるが、両病院とも市内の中心部にあり距離的にも近い(約3Km)ので、基地が2分されることによる障害は特にないと思われる。ただ供与器具、薬品類のうち常用される共通物件については、それぞれ別個に送付し、現地において速かに分配し得るようにしておく必要があるかと思われる。

なおバリ島内の巡回は、最も遠くてデンパサールより片道100Km程度であり、然も道路状態から見て平均80Kmで楽に飛ばせるので、何れも基地から日帰り巡回診療が充分可能と思われる。

バリ島における病院施設の特殊事情、その他医療事情ならびに日本診療団団員の生活問題を勘案すると、病院勤務と巡回診療を結びつけた上記診療方式が最も妥当と思われる。

4. 診療車について

11月4日のバリ省衛生当局との第1回会談において、日本側より日本診療団の巡回のためインドネシアに提供される診療車の規格について説明したところ、バリ省側はこれに満足の意を表したあと、バリ島における橋梁建造の基準は、最低重量制限5トン、高さ3m、幅3mとなつており、従つてそれ以下の橋はないわけであるが、丁度最低基準の橋で道路と直角の角度をもつた

橋が島内に3カ所程あり、然もそれが吊橋であるため、日本側の提示した規格では通過できない恐れが多分にあるので、診療車の規格を最大限重量5トン、高さ2.8m、幅2.5m、長さ6mに変更するよう要望があつた。このため先発隊は直ちに、これら橋梁を視察した結果、確かに通過することは困難と思われ、然も何れも幹線道路の上の重要地点にあることから、診療車の規格変更の必要があるとの結論に達し、直ちにこの旨在ジャカルタ日本大使館宛打電した。

日本側が予定した規格でも、最悪の場合この種橋梁を迂回する等の方法により、巡回診療を行へる可能性はあると思われるが、わが国の医療協力をより効果あらしめるためには、出来得る限りイ側の希望を入れて規格を変更することが望ましい。

診療車は、ジャカルタ港に陸揚げし、点検のうえ、贈呈式を行ない、その後直ちに陸路輸送し、ジャワ島、バリ島間はフェリーポートまたは輸送船を利用することとなつた。ジャカルタ港における荷揚施設は充分であるが、取扱いが極めて乱暴であるので、船積にあつてはこの点充分留意の要がある。また点検にあつては、調整員とともに結核専門医を先発せしめ、特にレントゲンの試運転を行なわしめる必要がある。これについては、保健省当局と会談の際も、予備部品の提供方依頼と併せて特に万全を期するよう依頼があつた。

ジャワ島、バリ島間の海上輸送は、一般にはフェリーポートによるわけであるが、フェリーポートに積載不可能の場合は別に輸送船がある趣である。フェリーポートは、ジャワ島のBanjunganji またはKapauとバリ島のGiliimanukの間を1日合計4航海就航しており、積載能力は高さ2.9m、幅4.5mで、長さ重量は充分余裕がある模様である。一方、輸送船は就航は不定期であるが、積載能力は幅2.7m長さ11mで、高さは充分の余裕がある趣であり、特に高さの関係でフェリーポート積載が困難となれば輸送船によることとなる。

なお、診療車の登録等手続上の問題は、保健省当局が一切の責任を持つことを確認した。

5. 薬品、器具類の供与について

先発隊より、バリ省衛生当局に対し、日本から供与予定の品目リスト〔附表(1)〕を提示し、検討を依頼したところ、イ側としては原則として本品目リストに異存はないが、更にこれらの物件のほかにイ側の希望する医療器具類数点〔附表(2)〕を加えて欲しい旨依頼があり、これに対し先発隊側より予算の制約もあるがなるべく善処することを約した。

日本側供与物件については、バリ島の医療事情、今回の診療方式等を充分勘案のうえ、再検討の要がある。

これら物件は、スラバヤ港に陸揚げし、Banjunganji からフェリーポートでバリ島に輸送す

ることとなるが、診療車と同様荷揚げおよび輸送の取扱いがひどいので、梱包にあたっては充分留意の要がある。特に梱包外装の注意書等は全てインドネシア語とすることが望ましい。また第1回の如く、内容品と梱包番号とが一致しない事のない様留意する要がある。

6. 宿舎の提供について

上述の通り、バリ省衛生当局との会談の結果、日本側診療団員用にバリ側が提供を予定する宿舎として提示されたデンパサール市内の Denpasar Hotel と Oka Hotel は日本人が4カ月間の長期間滞在するには不向きであるとの結論に達した。

このほかの提供予定宿舎としては、病院の Doctor 用の水洗便所付の宿舎があるが、これは現在使用中であり、当分空く可能性はないとのことであつたが努力はしてみるとの事であつた。従つて先発隊は日本人が住めるような水洗便所付の適当な独立家屋の提供方を申し入れ、バリ側も努力を約したが、バリ島の住宅事情から見て、このような高級住宅を見出すことは困難と思われるので、最悪の場合は先方の提供する宿舎に入つたのち専門家自身が Pay してバリホテルに部屋を確保する必要もある。

バリ・ホテルは現在のところバリ島随一の設備規模を有しており、世界各地からの観光者用に利用されているので、一応設備等は充分耐え得るものと思われる。

然し、何れにせよ食糧事情は極めて悪くホテルの食堂を長期利用することは困難と思われるので、この点充分の対策が必要と認められる。

7. 通訳の提供について

通訳については、調査団より日本語←インドネシア語の通訳3名の提供方を申し入れたが、バリ省衛生当局としては、日本語の通訳をバリ島において見出すことは全く不可能であるとし、結局英語の通訳を1名提供することとなつた。バリ島では Doctor はある程度英語を話すので、英語の通訳は1名で充分と思われる。

然し、現地人を診療する場合、微妙な表現を日本語←英語←インドネシア語の二重通訳では診療に支障を来す恐れが充分予想され、これは派遣に先立ちインドネシア語を習得せしめた程度では解決は出来ないとと思われるので、日本語の通訳2名の提供方中央政府の保健省と更に折衝するより大使館当局に依頼した。

8. そ の 他

コックの提供については、日本食の出来るようなコックは居ないとの理由で難色を示したが、これは宿舎にもよるが、独立家屋の場合は特にコック兼用の家政婦が絶体に必要であるので、家政婦という線で再度提供方申し入れる必要がある。

自動車については、診療期間中1台を運転手付で随時提供を受けることとなつた。先発隊としては当初2台を要求したが、バリ側の事情もあり結局1台となつたわけであり、バリ側は、若し1台でどうしても不足となり必要と認められる時は更に1台提供することを約した。

麻薬および血清については、特に覚書にも明示したが、インドネシア側において供給する旨の確約を得た。参考までにこれら物件はインドネシア国内において容易に調達可能の趣である。その他、インドネシア側が提供する医師、看護婦等および薬品、器具類ならびに運営に要する経費などは前述の通り診療方式が病院を基地とすることとなつたため殆んど問題はないものと思われる。先発隊の印象としては、バリ省当局は診療団の来イを心より親迎しており病院も全体が一丸となつて協力してくれるように見受けられた。

第 5 章 覚 書 (案)

— 英 文 —

Memorandum on arrangements concerning dispatch of a Japanese Medical Team to Indonesia under Colombo Plan

1. The Japanese Medical Team will consist of
 - a. Doctors One general surgeon gynecologist.
One specialist in tuberculosis.
One ophthalmologist will be included upon approval of the Japanese Government.
 - b. Two nurses
 - c. One coordinator

The curriculum vitae of the members of the Team mentioned above will be sent to the Government of the Republic of Indonesia in advance for its approval of acceptance.

2. The Japanese Medical Team will be sent to Indonesia in February 1964 and will stay for a period of about four months to conduct medical services and related activities. The place to be visited by the Team will be Bali for the whole period.
3. The Japanese Medical Team will function under the general direction of the Government of the Republic of Indonesia.
4. The Japanese Medical Team shall be exempted from liability in respect of any accident that may arise in connection with

the bona-fide discharge of medical treatment activities carried out by the Team.

5. The members of the Japanese Medical Team will be sent to Indonesia through the normal procedure of Colombo Plan experts and shall be granted privileges, exemptions and benefits including

- (i) living accomodation free of charge at the places where they are to carry out their work
- (ii) free medical care
- (iii) additional travelling expenses, if any.

6. One medical van, medical drugs, sanitary materials and medical appliances to be used by the Japanese Medical Team will be supplied by the Government of Japan under the Colombo Plan.

7. The Medical van will be handed over to the Government of Indonesia upon its arrival in Indonesia and prior to the commencement of the project program.

Registration and other formalities for the use of the van will be effected by the Government of Indonesia as soon as possible after arrival of the van.

The Government of the Republic of Indonesia will take necessary steps for the storage and transportation of the medical drugs, sanitary materials and medical appliances in connection with the Team.

8. After completion of the project, the remainder of the articles will be donated to the Government of Indonesia.
9. Customs duties and other similar charges, if any, imposed in Indonesia in respect of the articles in 6 above shall be exempted.
10. To assist the activities of the Japanese Medical Team, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary preparatory measures as well as provide necessary personnel, equipment and supplies for the smooth and effective execution of the Mission of the Team.

Any running expenses necessary for the services of the Japanese Medical Team will be borne by the Government of Indonesia.

11. Narcotics and serum will be provided and other necessary medical drugs and sanitary materials, medical appliances available in Indonesia will be supplemented by the Government of Indonesia when required.

コロポ計画に基づく日本診療団のインドネシア 派遣に関する取決めについての覚書(案)

1. 日本診療団の構成は次の通りとする。

a) 医師3名(外科医, 産婦人科医, 結核専門医各1名)

ただし出来得れば, 日本政府の承認を得たうえ眼科医1名を加えるものとする。

b) 看護婦 2名

c) 調整員 1名

上記に掲げる団員の履歴書は, インドネシア共和国政府の承認を取付けるため同国政府に前もって提出されるものとする。

2. 日本診療団は1964年2月インドネシアに派遣され, 約4カ月滞在して医療活動ならびにその他関連業務を行うものとする。本診療団が医療活動を行う地域は全期間バリ島とする。

3. 日本診療団は, インドネシア共和国政府の総合的指示のもとに業務を行うものとする。

4. 日本診療団は, 同団によつて送行された医療活動の善意の送行に関連して生じた如何なる事故についても責任を負わないものとする。

5. 日本診療団団員は, コロポ計画専門家の通常の手続によつて派遣されるものであり, 以下に掲げるものを含む特権, 免除および便宜を与えられるものとする。

a) 各診療実施地における宿舍の無償提供

b) 医療費の負担

c) 必要な場合における旅費の負担

6. 日本国政府は, 日本診療団によつて使用される診療車1台, 医薬品類, 衛生材料および医療器具類をコロポ計画に基づき供与するものとする。

7. 診療車は, 本計画の開始に先立ちインドネシア到着と同時にインドネシア共和国政府に引渡されるものとする。

インドネシア共和国政府は診療車到着後, 速かに診療車使用のための登録およびその他の手続を完了するものとする。

インドネシア共和国政府は診療団に関連した医薬品類, 衛生資材および医療器具類の保管および

び輸送については必要な処置を講ずるものとする。

8. 本計画の終了後において、物品のうち残余物件が生じた場合は、インドネシア共和国政府に贈与されるものとする。
9. 上記第6項の物品に関してのインドネシア国内において課される関税またはその他類似の課徴金（若し課される場合は）は免除されるものとする。
10. 日本診療団の活動に協力するため、インドネシア共和国政府は同団の使命がスムーズかつ効果的に実施され得るよう所要の役務と設備資材を供与するとともに必要な準備処置を講ずるものとする。

日本診療団の活動に必要な運営費等はインドネシア共和国政府が負担するものとする。
11. インドネシア共和国政府は、麻薬および血清を供与するほか、その他必要な医薬品類、衛生材料、医療器具類のうちインドネシアにおいて調達しうるものについて、その補充の必要が生じた場合は、その補充を行うものとする。

〔附表(1)〕 インドネシア側に提示した「日本側供与
 予定の薬品、器具類一覧表」

Description of Goods	Quantity
<u>Roentogen Clinic Car</u>	1 unit
Chassis: Nissan Model E690, equipped with Toshiba X-Ray apparatus Model KCD-K-5RB with accessories.	
<u>Toshiba X-Ray Apparatus</u>	1 set
1. Model KCD-K-5RB	
Consist of:	
1) High tension generator	1 set
2) Condenser	2 sets
3) Controller	1 set
4) X-Ray tube (DRX-56)	1 set
5) Supporting Stand	1 set
6) Photo-fluorographic stand	1 set
7) Voltage regulator	1 set
2. Accessories for the above	
1) Canon Camera 35 m/m	1 set
2) Leader's stand	1 set
3) Dark room ramp	1 set
4) Automatic film marker	1 set
5) Developer	1 set
6) Hunger	1 set
7) Film viewer	1 set
8) Film marker (Radiography)	1 set
9) Film clip	20 sets
10) Cassette	3 sets
11) "	3 sets
12) Intensifying screen	3 sets
13) Intensifying screen	3 sets
14) Thermometer	1 set
15) Timer	1 set
16) Bottle	2 sets
17) Rectifier tube K24	1 set

Description of Goods	Quantity	
<u>Medicine</u>		
Acromycin V capsules	250mg 100	5 boxes
Acromycin V Syrups	250cc	10
Acromycin (tab)	100mg 100	5
Acromycin intramuscular	100mg	10
Hostacyclin intravenous	250mg 10	10
Chloromycetin capsules	250mg 100	10
Chloromycetin intramuscular	250mg	5
Chloromycetin intramuscular	500mg	10
Paraxin Dry syrup	100ml-	
Takeda Crystalline Patassium- Penicillin G	20 10	
Takeda Procaïn Penicillin Suspension	300	
Sumitomo Mycillin		200
Yamanouchi Sulfaisokisazol	1kg	1
Thiasin (inj)	10% 6ccx50	1
Caff, et, Sod, Bez :	25g	1
Takeda Caff, et, Sod, Bez (inj)	2.0% 1ccx10	10
Carnigen	2ccx50	2
Digitoxin (tab)	1,000T	1
Digilanogen - C	0.4mg	
	2ccx50A	1
Neosynesis No.2	5mg 1x10A	10
Neosynesis No.1	1mg 1x10A	10
Vitacaffer	0.5% 1x50A	2
Basmin (inj)	1ccx10A	10
Pas Calcium	5kg	1
Kyowa Combined Streptomycin	1g	50
Isonicotin acid Hydrazid	50mg	
	1,000T	5
Kanamycin	1g 1,000mm	
	Ricca	200
Sodium Bicorb Crystal	500g	2
S M powder	500g	2
Alaum Tann	500g	1
Rexisatol (tab)	50T	2
Magenesum Sulf	500g	1
Wagostygumin (inj)	1ccx100A	1
Pulre Ext Nuc Vom	25g	1
Pulre Ext Scopol	500g	1
Aechyl Aminobenz	25g	2
Rabonal	0.5gx50	1
Omunicain 1%	10ccx5	40

Description of Good		Quantity
Percamin - S	10A	.5 boxes
Isonytal (tab)	50T	3
Noblon A	2 ^{cc} x50A	1
Sedes (tab)	500T	1
Shin Glelan (tab)	500T	1
Shin Grelan for children	50T	10
Buscopan	1x50A	2
Salso Grelan	20 ^{cc} x50	1
Tyugai Salbro	20 ^{cc} x50	1
Acid Acetylsal	500g	1
Yamakawa Acid Acetylsal (tab)	20T	5
Phenacet	500g	1
Fujinaga Phenobarb	25g	1
Nova Grelan	20 ^{cc} x50	1
Egalin	1 $\frac{1}{2}$ 100g	1
Pityrol	500g	3
Thiasin (ung)	500g	1
Tr. Iod	500g	10
Mercurachr	25g	10
Hyamin - T	500g	15
Alcohol	500g	10
Ag. dest pro Inject	20 ^{cc} x50	1
Liq, Cresol, Sap	500g	15
Sapo Potass	500g	15
Methyl Alcohol	500g	5
Benzine	500g	10
Phenol	500g	1
Solutio Turcki	100g	1
Solutio Hayem	100g	1
Chill Sche	100g	1
Gabett's sche	100g	1
Coer Methylen (a unit dyeing)	25g	5
Ehrlich's alcleyd reagent	100cc	5
Nylander's reagent	100cc.	2
Sulfosalicylsanre	25g	4
Oil of Cedar wood	25g	2
Gimya's reagent	25g	20
Ziazo's reagent	100g	1
Formalin	500g	2
Benchizine	25g	1
Oxdol	500g	5
Gram dyeing (A, B, C)	100gx3	1
Clistal Violet	25g	1
Santonin (tab)	1,000T	1

Description of Good		Quantity
Macnin - S	2Tx100	5 boxes
Cap Tetrachloroethylen	100	10
Hopalet (tab)	1,000T	3
Tioctan	2 ^{cc} x10	2
Orotonsan	25g	2
Adcna (AC - 17)	10mg 2x50	2
Tachostyptan	5 ^{cc} x5	20
Manetol	1 ^{cc} x25	1
Alinamin (tab)	1,000T	1
Chocola - A A 15,000/u	100T 2	
D 1,500/u	100T 2	4
Takeda Metabolin (Vitamin B1)	20mg 2x50	10
Takeda Furabol (Vitamin B2)	10mg 1x50	1
Vitacimin	100mg 1x200	1
Takeda Katire (inj)	10mg 1x50A	1
Takeda Katire	75mg 50A	1
Bisuoanin	2x100A	1
Restamin Powder	100g	1
Medorole	0.4mg 100T	3
Methy - F	40mg 1x10	10
Medicon powder	10% 25g	1
Methiocil (tab)	100T	1
Asdrin	100gxl	1
Noctan (tab)	500T	1
Otuka Ringeri Solutio	500cc Vial	10
Otuka liq sod. chlor Physiol	500cc Vial	10
Otuka Dextros 5%	500cc Vial	10
Otuka Dextros 20%	20ccx50	1
Otuka Dextros 40%	20ccx50	1
Takeda Sod. Cit 3.8%	0.5 ^{cc} x10	5
Cale chlor 2%	20 ^{cc} x50	1
Moljodol	5 ^{cc} x1	10
Birigrafin 30%	20 ^{cc} x5	2
Sugiuron	30cc	10
Urografin	60% 20 ^{cc} x5	1
Takeda Insulin (inj)	1 ^{cc} 40E 10cc	10
Protamine Zinc isjilin	1 ^{cc} 20E 5cc	10
Tuberculin prist	10 ^{cc}	10
Vasel. Alb.	500g	8
Talc	500g	2
Ol. soj	500g	20
Glycerin	500g	15
Solbase	500g	10
Acid Boric	500g	10

Description of Goods		Quantity
Gryteer	100g	1 box
Ung acid Bor. C. Zinc	500g	5
Ung acid Bor.	500g	5
Predonine	0.25% 10g	50
Stick Arg Nitras	25g	2
Baramycin	500g	1
Andecin	500g	2
Teer Paster	500g	5
Acromycin Ophthalmic oil suspension	5g	50
Otuka Sod Chlor	500g	10
Plasma	200cc	10
Eozin	25g	1
Varsam Aeorosol	300g	10
D-D T powder	500g	10
B H C (inq)	500g	10
Katori Senko		80
Eiken SS Vegetable gelatine baich	240g	1
Repellan	500 ^{cc} x1	40
Quin Hydrochlor	500gx10	5
Resochin	1,000T	3
Stibnal	20 ^{cc} x5	50
Supatonin	1T/50mg 500T	12
Tricho mycin	1T/5 100T	1
Mapharsemin	No.1 10A	30
Mapharsemin	No.2 10A	30
Fuadin	5 ^{cc} 10A	4
Emet Hydrochlor	1 ^{cc} x5	10
Cligra baich	300g	1
Dylocain (Liq)	3.5 ^{cc} x10	10
Nor Adrenalin	1 ^{cc} x10	10
Imidalin	1 ^{cc} x10	10
Isozol	0.5g	10
Dylocain Biscus	30g	2
Alarzin	250cc	1

Description of Goods		Quantity
<u>Internal and Surgical Instruments</u>		
Oxygen Cylinder	Volume 3.4 L.	2 Pcs.
Oxygen Regulator	ATCM	1 "
Boiling Instrument	available for electricity	
Sterilizer (Table type)	220V. 30x15 cm.	1 "
Irrigator	hard glass 500 c.c.	4 "
Sterilizer Forceps	Stainless Steel	4 "
Utility Forceps, straight, large	Stainless Steel	1 "
- " -		
Medium	- " -	1 "
- " -		
Small	- " -	1 "
Clinical Thermometer	for 1 minute use	1 doz.
Lumber Puncture Needles for adult	combination, large and small	10 pcs.
Glass Syringe 100 c.c.	hard glass	10 "
" 50 c.c.	"	10 "
" 20 c.c.	"	10 "
" 10 c.c.	"	12 "
" 5 c.c.	"	36 "
" 2 c.c.	"	36 "
Enema Syringe 30 c.c.	"	6 "
Hypodermic Needle 1/1	Stainless steel, chrome plated hub	12 doz.
- " - 1/2	- " -	12 "
- " - 1/3	- " -	12 "
- " - 1/4	- " -	12 "
	- " -	12 "
Puncture Needle	Combination with Large and Small	12 "
Transfusion Needle Large	Stainless Steel, Chrome Plated hub	2 "
- " - Small	- " -	2 "
	- " -	2 "
Infusion Needle	hollow tip	12 "
Operating Scissors, straight	stainless steel, 14 cm.	10 Pcs.
Pluss Basin Large, Medium and Small	brass	5 set

Description of Goods

Quantity

Instrument Tray	Stainless steel	
Metal Dish	36x36cm.	3 Pcs.
Glass Syringe for Tuberculin	9cm. dia. hard glass	5 " 10 "
Hypodermic Needle for Tuberculin	stainless steel, chrome plated hub	4 doz.
Cotton Mask	White	20 Pcs.
Examing Pillow	Vinyl leather	2 "
Cloth Cotton	Check print sheet	30 "
Pencil	Red & Blue	20 "
Hand Brush	white	10 "
Simplified Dressing Sterilizer	same for 2 pcs. of drum 18 cm. dia.	1 "
Dressing Drum	18 cm. Dia. brass chrome plated	4 "
Sterile Spray	about 10 L. shoulder	1 "
Rubber Sandal	Special size	3 pairs.
Bondage Scissors	Stainless Steel	2 pcs.
Skin-marking Pencil	Red	30 "
Drop Adapter	glass	10 "
Glass Observating Adapter	"	10 "
Gastro-Intestinal Double Catheter	Toichi Hesp	10 "
Lumber Puncture Needle	for children	10 "
Infravenous Administration set for Pediatric Fluid Therapy	ATCM I.V. set	1 set.
Indwelling Cathether Infant Feeding	Poly vinyl	50 Pcs.
Setting Case	Metal; for Syhnge & Needle	1 "
"	Wooden	1 "

(Internal Instrument)

Blood Sedimentation Pipette	Glass	20 Pcs.
Applicator for Throat	Hartman's	5 "
Stethoscope (Onizuka's)	plastic	5 set.
" for blood pressure	plate type	3 "
Mercurial Spymomanometer	with metal case	1 "

Description of Goods		Quantity
Aneroid Sphygmomanometer	with case	1 set.
Percussion Hammer	Yoshimura's	2 Pcs.
Tongue Depressor	Plain metal	50 pcs.
Head Mirror	special	1 "
Measure Tape	Cloth 2 M.	1 "
Stop Watch	SEIKO	1 "
Stomach Irrigator	all rubber	1 set.
Blood Sedimentation Stand	for 5 pipettes	2 pcs.
Feeding Catheter	rubber	10 "
Electro-Cardiograph	Fukuda RS100H 220 V. 60 Cycle	1 set.
Cardiograph Recording Paper	for Fukuda RS100H	10 Volume
Diagnosis Tuberculin Solution	10 c.c.	50 Pcs.
Setting Case	wooden	1 pc.

(Surgical Instruments)

Tokyo Univ. Pattern Biopsy Needle set		1 set.
Therax Puncture	Nagao's with Wooden case	1 "
Gastro Camera	Olympus Model V	1 "
Color Film for Gastro Camera	" for Olympus	10 doz.
- " - for 35 m/m Camera	Fuji	30 pcs.
Puncture Needle small	Stainless Steel	2 doz.
- " - large	"	2 "
Guyon's Kidney Forceps	Stainless Steel	2 pcs.
Finger Splint Aluminum	large medium & small	5 set.
Press Band	Rubber	2 pcs.
Kramer's Net Splint large	Galvanized Wire made	8 "
" medium	"	5 "
" small	"	2 "
Catgut No. 0.	Sterilized	3 doz.
" No. 2.	"	2 "
Suture Needle, Surgeon's	each size spring eye	10 box.
" internal	" "	5 "
" Blood vasouler	" "	3 "
" Skin	" "	2 "
Resping Forceps, Blood-vasouler	chrome plated	2 "

Description of Goods	Quantity
Cawardin's Intestinal Anastomosis Forceps	Stainless steel 1 pc.
Gall Bladder Forceps	" 1 "
Trichlorethylene Inhaler	ACOMA 1 set.
Bottenheimer's Rectal Speculum	Brass Chrome plated 4 pcs.
Strange's "	large & small 1 set
Otuki's Abdominal Speculum	Brass Chrome plated 2 pcs.
Biliary Duct Bougie	large, medium & small 1 set.
Elevator for cutting soft tissue	chrome plated 1 pc.
Umbilical Scissors	stainless steel 2 "
Umbilical Cord Clip	20 "
Tracheal Catheter	Nakajima's 20 "
Pinch Cock Box type	with Rubber tube 1 set
Rectal Bougie No. 13	hard Rubber 5 pcs.
" No. 14	" 5 "
" No. 15	" 5 "
" No. 16	" 5 "
Automatic Infant Resuscitator	N-Ideal, s-8 type 1 set.
Oxygen Tent	N-Ideal Model, T-3 1 "
X-Ray Film 11x14"	Fuji-Film 20 doz.
" 10x12"	" 20 "
" 8x10"	" 10 "
" 4 3/4 x 6-1/2 (Cabinet)	" 3 "
" for Mass-Radiography (6x6)	" 500 pcs.
Developing Liquid	2 L. 25 "
Dark-room lamp for three face	220 volt 60 cycle 1 "
Silk Suture No. 7.	10 bundle in box. 5 box.
" No. 5.	" 5 "
" No. 3.	" 5 "
" No. 9.	" 5 "
Kocher's Retractor, 1 prong, sharp	stainless steel 1 pair
Curette double-ended	" 3 pcs.
Dressing Forceps no tooth small	" 6 "
" with teeth small	" 6 "
Operating Scissors Curved	" 6 "
Kocher's Hemostatic Forceps with teeth	" 20 "

Description of Goods	Quantity
Pean's Hemostatic Forceps no tooth	stainless steel 20 pcs.
Amputating Knife	chrome plated 2 "
Mikulicz's Peritoneum Forceps	stainless steel 10 "
Otsuki's Abdominal Retractor	chrome plated 1 pair
Langenbeck's Metacarpal Saw	chrome plated 1 pc.
Towel Forceps	stainless steel, Backhaus's 4 pcs.
Suture Sterilizing case	metal 2 "
Periostome	chrome plated 2 "
Operating Knife round edge	" 10 "
Deschamp's Aneurism Needle	left & right, Stainless steel 1 pair
Intestinal Forceps, straight	"Doyen's" stainless steel 4 pcs.
Langenbeck's Bone Forceps	Chrome plated 1 pc.
Liston's Bone Scissors	Large & Small 2 pcs.
Mathieu's Holder	each size stainless steel 4 "
Suture Needle Sterilizer	metal 1 "
Roser's Needle Holder for deep surgery	stainless steel 2 "
Cleveland's Ligature Corners	" 2 "
Esmarch's Tourniquet	Rubber with metal case 2 "
Operating Knife, sharp edge	Chrome plated 10 "
Retractor Flat	2A & 3A 4 "
Dressing Forceps, long	stainless steel 15 "
" long, with teeth	" 5 "
Retractor with 2 prong, Blunt	" 1 pair
Fritsch's Abdominal Retractor	" 2 "
Retractor, Right-Angle	" Middle 1 pc.
Portable Suction Unit	diaphragm type 1 set.
Intestinal Spatula	chrome plated 4 "
Otuki's Gastrointestinal Suturing Instrument Set	" 1 "
Bone Gouge, Grooved type	" 2 pcs.
Kocher's Hemostatic Forceps, long	stainless steel 10 "
Pean's " curved	" 10 "
Payer's Stomach Clamps	" 1 "
Pliers Cutting	chrome plated 2 "

Description of Goods		Quantity
Pliers Cutting for silver wire	chrome plated	1 pc.
Sutre Wire, silver 0.6 m/m	Silver wire	10 M.
" " 0.8 "	"	10 "
" " 1.0 "	"	10 "
Cigarettes Dren Tube	Rubber	20 pcs.
Dittel's Metal Bougie	Urethral	2 set.
" " Catheter	"	2 "
Nelaton's Urethral Catheter No. 4	Rubber	10 pcs.
" No. 5	"	10 "
" No. 6	"	10 "
" No. 7	"	10 "
Metal Cup	stainless steel	3 "
Transformer	220 Volt 10 A.	3 "
Yamada-Sata's Lumber Puncture set	in wooden case	1 "
Setting Case	Wooden	1 "
Developing Tank with cover	White Enamel wear about 6000	2 pcs.
Developing Bat 11 x 14"	Polyethilene	3 "
(Clinical Test Equipment)		
Vacuum Bottle, Portable	2 Lit.	5 pcs.
Microscope	Olympus Model E.C.	1 set.
Slide Glass	100 sheets in box.	1 box.
Cover Glass 18 x 18 m/m	"	1 "
Pipette for Haemacy-tometer	Red and white	1 set.
Haemometer, Sahli's	ERMA	1 "
Haemacytometer, Tama's	"	"
Test Tube 10 c.c.	hard Glass	30 pcs.
" 20 "	"	100 "
Test Tube's Stand	Metal	5 "
"	Wooden	5 "
Centrifuge tube 15 c.c.	hard Glass	50 "
Alcohol Lamp	large	2 "
Petri's Dish, Glass	9 cm. Dia.	50 "
Measuring Syylinder, large	500 c.c. 1 pc. 200 c.c.	2 pcs.
"	2 pcs.	1 set.
" small	20 c.c.	1 pc.
Glass Beaker	300 c.c. 200 c.c.	3 set.
	100 c.c.	

Description of Goods		Quantity
Komagome's Pipette	with Rubber Cap	20 pcs.
Dropping Bottle	Glass	15 "
Rubber Cap 2 c.c.	Rubber	20 "
" 15 c.c.	"	20 "
Brush for Test Tube	small	2 "
Graduated Pipette 2 c.c.	Glass	3 "
" 5 c.c.	"	2 "
Narrow Mouth Bottle, white 50 c.c.	with stopper, Glass	10 "
Narrow Mouth Bottle, Brown 50 c.c.	- " -	10 "
Label Paper for Medicine Bottle	100 sheets in box.	2 box.
Cotton under Gyps	Orthon Band	5 kgs.
Blood Corpuscles Chamber "Thoma's"	"ERMA"	2 pcs.
Blood Corpuscles Chamber "Buerker-Turk"	"	1 "
Blood Corpuscles Chamber "Fucks-Rosenthal"	"	1 "
Centrifuge 15 c.c. x 4	Electricity use	1 unit.
Capillary Pipette	Glass	3 doz.
Filter paper	100 sheets in box.	1 box.
Urine Meter	Glass	2 pcs.
Hydrometer "Baume's"	"	1 "
Glass Funnel	9 cm. 12 cm., 15 cm.	1 set.
Urine Cup	Glass	5 pcs.
Hole Glass	10 Holes	10 "
Setting Case	wooden	1 "

(Sterilizing Material)

Linseed Oil Paper	100 sheets in box.	5 box.
Bandage Clip	100 pcs. in 1 box.	3 "
Pressed Antiseptic Gauze	100 M.	200 pcs.
Pressed Bandage No. 3.	Cotton	50 "
- " - No. 5.	"	50 "
- " - No. 6.	"	50 "
- " - No. 8.	"	50 "
Triangular Cloth	large & Medium	50 "
Pressed Absorbent Cotton	500 G.	50 "
Adhesive Plaster Tape	1.0 cm x 18 M.	100 "
Vinyle tape	1.0 cm x 4 M.	10 "

Description of Goods		Quantity
Tetra-Angular Cloth, large	90 x 180 cm.	20 pcs.
"	90 x 90 cm.	10 "

(Rubber and Vinyle Goods)

Surgical Gloves	No. 7-1/2	1 doz.
Rubber sheet	90.0 cm. x 10 M.	3 pcs.
Finger Sack	Rubber	2 doz.
Water proof Operating Gown	vinyle	5 pcs.
Rubber Boot No. 11-1/2	Black Rubber	1 pair
Rubber Boot No. 11	Black Rubber	1 "
" No. 10.5	"	2 "
" No. 9.3	"	1 "
Rubber Tube & Vinyle Tube	No. 6, each 50 M.	100 M.

(Clothing)

White Gown	Man Special size	Cotton	4 pcs.
"	" Large "	"	8 "
"	Woman " "	"	4 "
"	" Middle "	"	4 "
Operating Gown	Man Large "	"	4 "
"	Woman " "	" under wear	4 "
Operating Trouser			4 "
Man Special size		Cotton	3 "
"			
Man Large size		"	6 "
Operating Trouser			
Woman Large size		"	3 "
Operating Trouser			
Woman Middle size		"	3 "
Protective Gown		"	6 "
Nurse's Gown	Large	"	4 "
"	Middle	"	4 "
Cap & Mask		"	20 pair

(Pharmaceutical Instrument)

Ointment Spatula	"Large & Small"	Stainless Steel	4 set.
"	Plate	18 x 18 cm.	1 pc.
"	Jar 20 G. "Metal"	100 pcs. in 1 box.	3 box.
"	" "Polyethylene"	"	3 "

Description of Goods		Quantity
Powder Spoon Large, Medium, Small	Stainless Steel	2 set.
Pharmaceutical Blance 100 g.	Ishida's type	1 set.
Mortars & Pestle	porcelain	1 "
Dispensing Paper, white, large	500 sheets in 1 bundle	10 bundle
Dispensing paper Sack	100 sheets in 1 bundle	10 "

(Miscellaneous Goods)

Pencil	HB, H, Black	60 pcs.
Simplified Razor	T. type	500 "
Vinyle Sandal Special size	Vinyle-Rubber	3 pairs
" Large	"	3 "
" Medium	"	6 "
" Small	"	3 "
Bucket, large	Poly-Vinyle	5 pcs.
Basin	white enamel ware & Polyethylene	2 "
Safety Clip	Medium	3 doz.
Electric Kettle	1.8 L.	1 set.
Fooding Vessel	Plastic	6 "
Medical Dictionaly	"Nanzando" English- Japanese	1 volume
"	" Japanese- English	1 "
Oil Range	round-type	2 set.
Medicated Scap	"Muze-Soap"	20 pcs.
Toilet Soap		30 "
Table tap	3 P	5 pcs.
Electric God Wire	vinyl cord	50 M.
Seperating Plunge	A-C type	10 set.

(Ear, Nose, & Eye Instrument)

Lucae's Applicator		50 pcs.
Head Mirror, folding 8 cm. diz.		1 "
Nosel Speculum		2 "
Laryngeal Mirror		1 "
Eye Patch	100 sheeps in 1 box.	1 box.
Ear Bandage		4 doz.

Description of Goods	Quantity
Easing Eye Bath	Metal 2 pcs.
Dropper Bottle	with plastic case 100 "
Troeltsch's Ear Speculum, set of 3 pcs.	large, Medium & Small 3 set.
Applicator Glass	2 tons color 20 pcs.
Basing Eye Bottle	Glass 2 "

Total :

〔附表(2)〕 インドネシア側供与希望の品目一覧表

1. 血管手術用器具	Instruments for vascular operations
2. 肺切除手術用器具	Instruments for lobectomy and pneumectomy
3. 電気ドリル	Bone drill (electric)
4. 脳波器具	Electro-Encephalo-Graph
5. 脊髄索引用頭部支持器	Canvas head halter for traction on the cervical spine
6. 開頭用器具	Skull traction calliper (Blackburn's)
7. 尿管カテーテル(変圧器付)	Ureter catheter
8. 食道出血圧迫用器具	Endotracheal tubes with cuff
9. デルマトーム	Dermatome (electric)
10. エソホガル バルーン	Esophagal balloon

